

1. 営業対象施設

県立歴史博物館



昭和の暮らし
コーナー



ミュージアムシアター



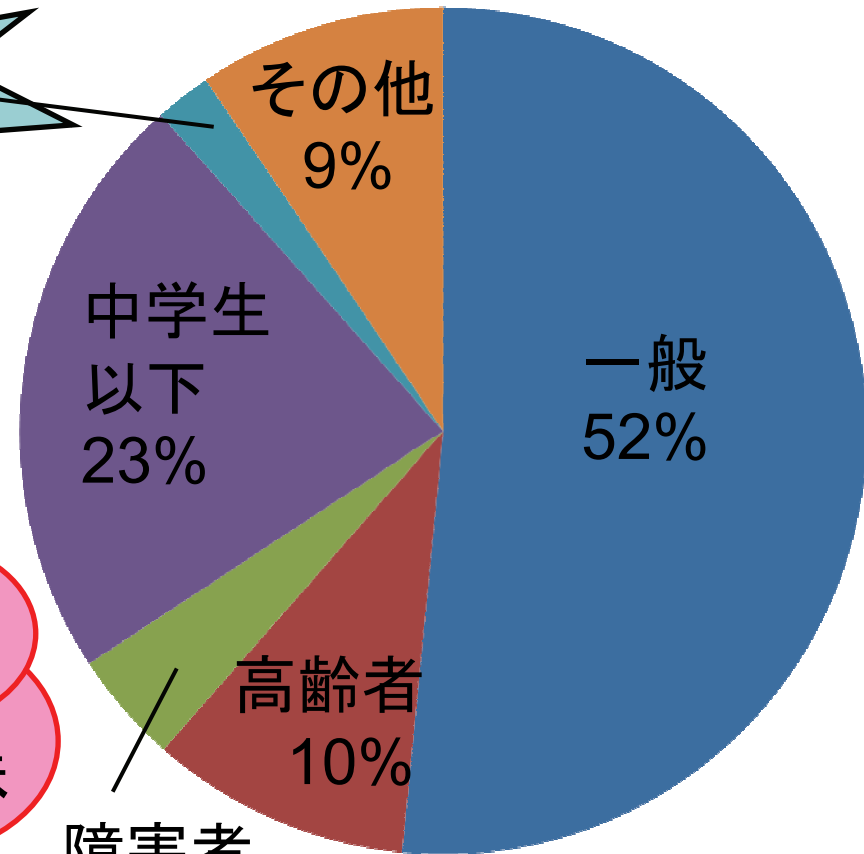
情報ライブラリー

2.聴き取り調査の概要・分析

高校生と
大学生
2%

**この年齢層の入館者
を増やしたい！**

県立歴史博物館の魅力を知らない人が多いのではないかと？
昭和のくらしのコーナーに興味をもつのではないかと？



障害者
9%

入館者の年齢層
(平成22年度)

3. 営業行動概要

- ①営業実施日：10月24日
- ②営業場所：福井県立大学
- ③営業対象者：県立大学に通う大学生
選定理由：学生が持つ県立歴史博物館に関する情報が少ないと考えたため
- ④活動内容
 - ・福井県立歴史博物館に対する意識調査を行い、調査結果を取りまとめる。
 - ・私たちが感じた福井県立歴史博物館の魅力のPR
→「昭和のくらし」のコーナーを中心とした展示物等の魅力をチラシに記載し、配布する。

福井県立歴史博物館に関するアンケート

Q1 性別

- ① 男性 ② 女性

Q2 年代

- ① 10代 ② 20代

Q3 出身地

- ① 福井市内 ② 福井市外(湖北地方) ③ 福井市外(湖南地方) ④ 県外()

Q4 福井県立歴史博物館を知っていますか?

- ① はい ② いいえ

Q4で「①はい」の方はQ5へ、「②いいえ」の方はQ7へ

Q5 福井県立歴史博物館に行ったことがありますか?

- ① はい ② いいえ

Q5で「①はい」の方はQ6へ、「②いいえ」の方はQ7へ

Q6 いつ、誰と、どんな目的で行きましたか?

・いつ : ① 大学生 ② 高校生 ③ 中学生 ④ 小学生以下

・誰と : ① 一人で ② 家族と ③ 友達と ④ 恋人と
⑤ 学校で ⑥ その他()

・目的 : ① 企画展など(企画展などの内容:)
② 学校での学習のため ③ なんとなく ④ その他()

Q7 (チラシを見て)行ってみたいと思いますか?

- ① はい (理由:)
② いいえ (理由:)

Q8 どのような企画があれば行ってみたいと思いますか?

()

Q9 休日は友人や恋人とどんなところへ遊びに行きますか?

()

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

実施したアンケート

(概要)

Q1:性別

Q2:年代

Q3:出身地

Q4:認知度

Q5:来館歴

Q6:来館時の状況

いつ、誰と、目的は?

Q7:チラシについて

Q8:興味のある企画展

Q9:休日の過ごし方



モノと出会う場所
福井県立歴史博物館

「ふくい」に生きた人たちが 残したモノでいっぱいの宝箱
福井の「モノとモノづくりの歴史」をテーマにした歴史ゾーン、昭和30～40年
代の町並みや農家を再現したトピックゾーン「昭和のくらし」、博物館の舞台
裏を紹介する「オープン収蔵庫」など、ユニークな展示が好評です。



泰澄ゆかりの神仏

10月27日(土)→11月25日(日)

福井県、とりわけ越前では、泰澄大師が開いたと
される寺院や自ら刻んだとされる仏像が多いこ
とで知られています。今回は、そうした泰澄大
師ゆかりの寺社より置像の顔々を当館にお迎え
します。

個人一般 ¥400 大学・高校生 ¥300 小中学生・70歳以上の方 ¥200
※30名以上の団体は2割引

ご利用案内

開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日 第2・第4水曜日
年末年始(12/29～1/2)
※臨時休館日あり

入館料 個人一般 ¥100、団体一般 ¥80
小・中・高生、70歳以上の方 無料
※特別展は別途設定

所在地 福井県福井市大宮2-19-15

TEL 0776-22-4675

Twitter @Fuku_i_rekihaku

※試験運用中

MAP



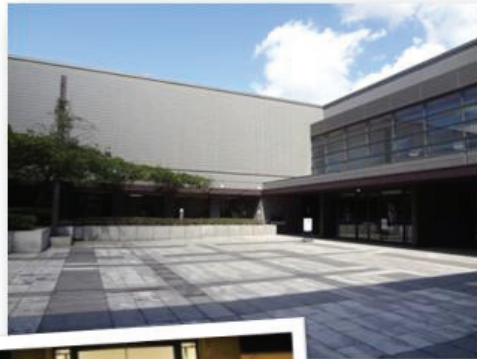
配布したチラシ(表面)

(概要)

- ・県立歴史博物館の紹介
- ・企画展
「泰澄ゆかりの神仏」案内
- ・基本情報

自分達が魅力を感じた
「昭和のくらし」の展示を
メイン写真とした。

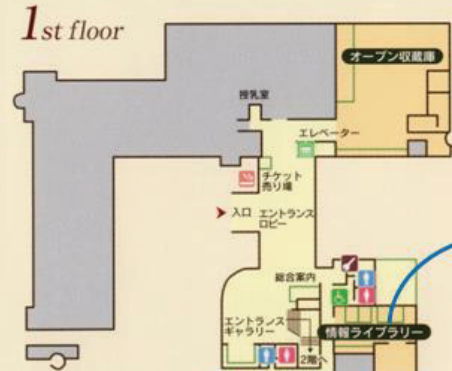
配布したチラシ(裏面)



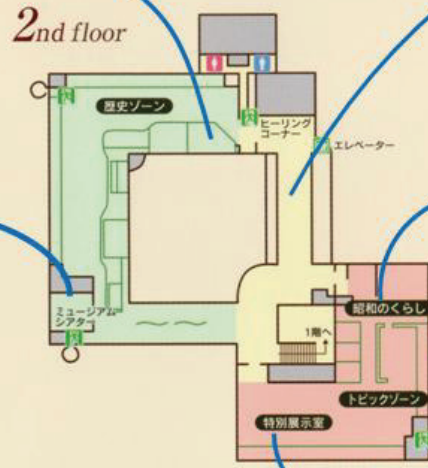
ミュージアムシアター

上映スケジュール

- | | | |
|-------|---|------|
| 10:00 | 福井ニュース(昭和33年) | 約37分 |
| 11:00 | 福井大震災(昭和24年)
おススメ!
福井復興博覧会(昭和27年) | 約27分 |
| 12:00 | 郷土の歩み(昭和37年)
ふるさとの歌(昭和37年) | 約39分 |
| 13:00 | ふるさと福井(昭和44年) | 約27分 |
| 14:00 | 福井ニュース(昭和34年) | 約38分 |
| 15:00 | 豪雪の恐怖(昭和38年)
おススメ!
56豪雪(昭和56年) | 約43分 |
| 16:00 | 方円の器 -くらしと水-
【福井市】(昭和57年) | 約30分 |



音に反応して
何かが光るよ!



「泰澄ゆかりの神仏」
※裏面参照

運が良ければ
修復の様子が見れるかも!?

情報ライブラリー

穴場スポット!
ガラス張り
限定3部屋!!
※1部屋調整中のため

あのフルーボード!!

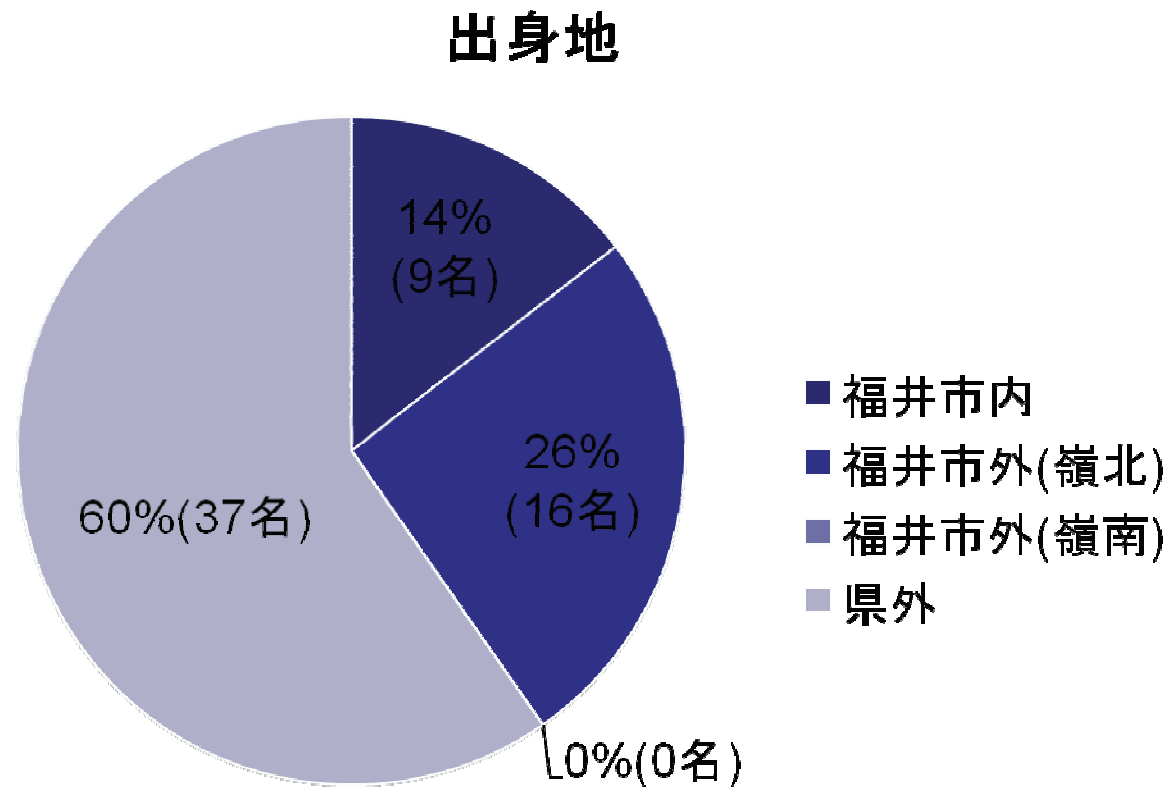


「昭和のくらし」
エリアは
写真撮影自由♪

UFO発見!?



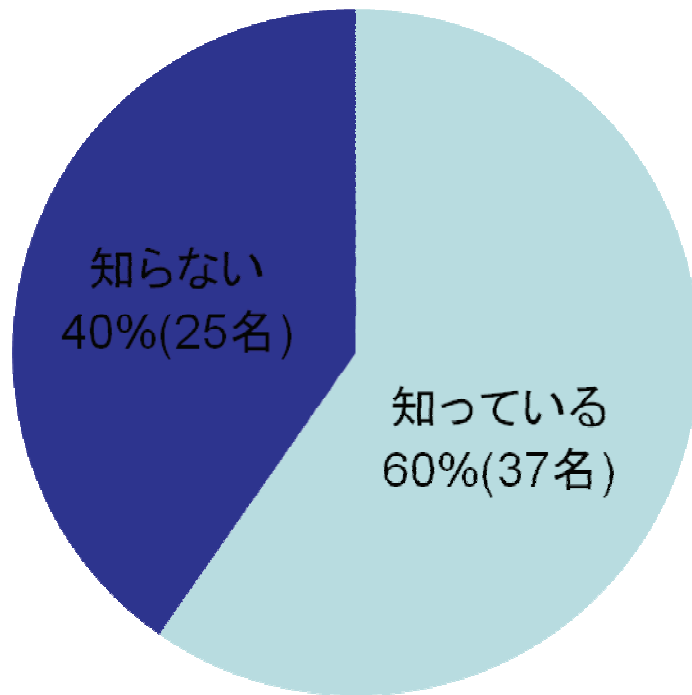
アンケート結果 聞き取り調査対象者の出身地



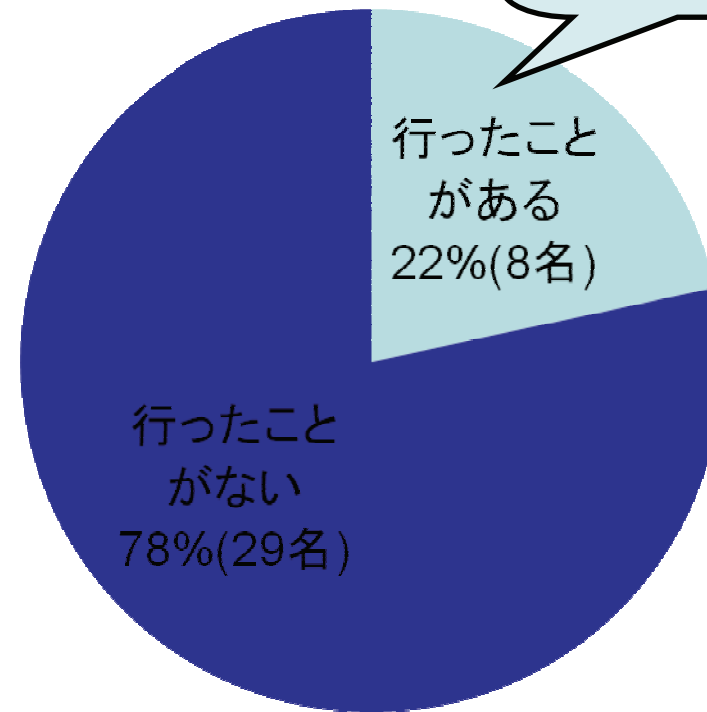
県外出身者が6割と多い

歴史博物館の認知度調査

認知度



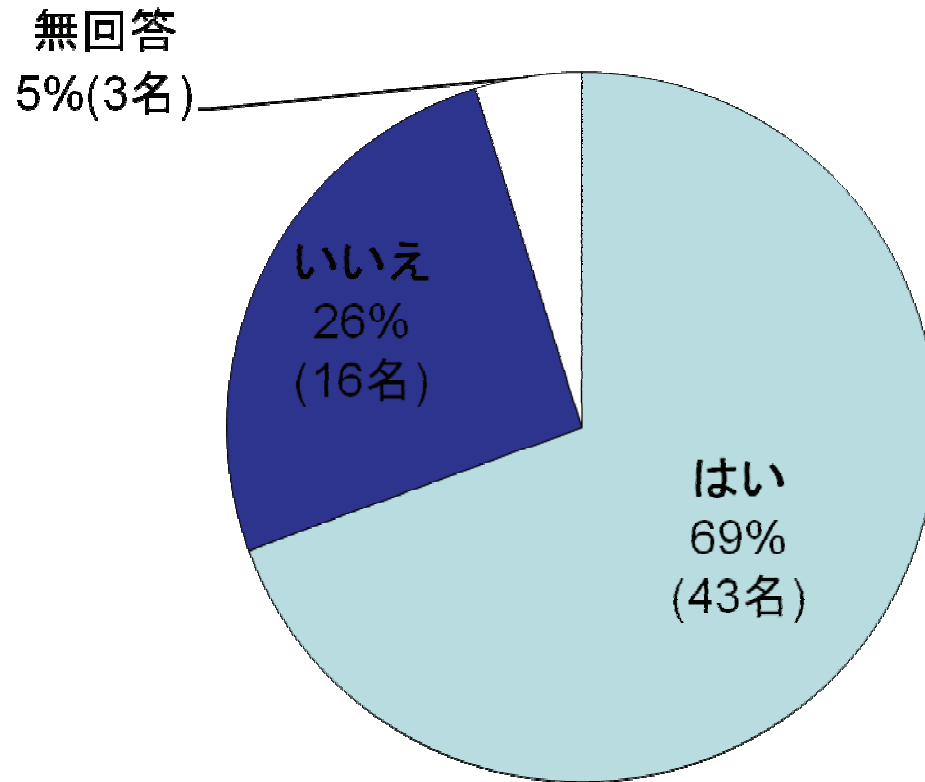
来館歴



半数は小学生以下での来館

歴史博物館について知っているが
行ったことがある人は少ない。

チラシを見て行きたいと感じたか？



「昭和の暮らし」のコーナーが良い、昔の車に興味あり、などの声が多かった。

企画展に対する要望

- 福井の歴史、著名人に関する特集・・・6名
- 昭和の展示に関する特集・・・4名
- 仏像に関する特集・・・4名
- その他

美術関係の企画、恐竜博物館との連携企画、
体験型の企画、映像を見れる企画、
記念品があると良い、カフェを昭和風にできないか

(計30名より回答あり)

4. 営業行動の成果

- 県立大学の学生を対象にチラシを100枚配布し、62名に対して聞き取り調査を行った。
- 学生の60%が県外出身者であり、「交通の便が良ければ行きたい」といった意見があった。
- 歴史博物館について知っているが行ったことがある人は少ない。
- チラシを見て展示物を初めて知ったと答える人が多く、魅力を伝えることができた。
- チラシを見て行きたいと答えたのは73%であり、今後来館する可能性が示唆される。

5. 実践の成功点と要改善点

7割の学生がチラシを見て行きたいと回答した。



より多くの大学生への情報提供が必要。娯楽施設や公共共通機関の掲示板に昭和の暮らしや特別展のポスターを貼る。

歴史博物館を知っているが行ったことがある人は少ない。



行きたいと思うだけで、行かないのではないかな？

- ・来館する積極的なきっかけづくりが必要
- ・新しい利用方法の検討

6. 要改善点を受けての提案

これまでの
PR法の継続



新しい利用方法
が必要

- ① 娯楽施設や公共共通機関の掲示板にポスターを貼る。
- ② メディアを利用した情報の提供

教育の場の活用

- ① 大学の教育学部や文学部での歴史を学ぶ場として活用
- ② 医療・福祉関係の学習の場として利用

入館者の増加